

愛媛県愛南警察署協議会会議録
(令和元年度第1回)

日時	令和元年7月22日(月曜日)午後3時30分～午後5時45分
出席者	1 警察署協議会側 会長以下6人 2 警察署側 署長以下7人
議事概要	<p>1 会長挨拶 今回から委員4名が交替となり新たな体制での出発となった。これまで同様、円滑な協議会の運営に努めていく所存である。 さて、愛南警察署には、昨年同様、愛南町内における犯罪の予防、交通事故抑止等に向けた取組を推進してもらっており、刑法犯認知件数、交通事故発生件数ともに前年を下回る等、地域住民の安全安心に大きく貢献し、特殊詐欺被害の発生もないほか、昨年8月末以降、交通死亡事故もゼロに抑えている。今後も、効果的な業務推進を期待する。</p> <p>今回は、愛南警察署から前回の答申に対する取組推進状況、今年1月から4月までの業務推進結果、5月から8月までの推進計画等について説明があるほか、諮問については「高齢者の安全安心確保に向けた推進」ということになっている。</p> <p>警察署協議会は、警察業務への理解を深める場であるほか、意見・要望等を通じて、地域住民と警察を繋ぐ重要な役割を果たす存在でもあることから、皆さんが普段感じていることに関する活発な協議、意見交換が行われますよう提言をお願いして、挨拶とさせていただきます。</p>
要	<p>2 署長挨拶 今年の愛南警察署の治安情勢については、刑法犯事件に関しては、6月末までに窃盗事件17件、暴行・傷害3件を含めた23件の刑法犯被害を認知するに至っているが、前年同期比で29件の減少となっている。</p> <p>しかし、コンビニで取り扱う電子マネーを悪用しようとした架空請求等、特殊詐欺事件に関する予兆相談が40件、DV、ストーカー等人身安全に関する相談事案12件を愛南町内で覚知しており、町民が十分に安心して生活できる環境とは言い切れず、今後も予断を許さない情勢に変わりはない。交通人身事故については、6月末までに9件の発生があるが、これは前年同期比で7件の減少であり、日頃の交通安全教育や交通取締り等を通じた交通安全対策が功を奏している。</p>

議 事 概 要	<p>当署としては、犯罪の取締りや検挙活動はもちろんのこと、愛南町、交通安全協会、防犯協会といった各種関係機関団体と連携を図りながら治安環境の整備に努めるほか、地域の安全安心に繋がる広報啓発活動に尽力していく所存である。</p> <p>これまで同様、当署では、「ともに築こう 安全安心 明るい愛南」をスローガンに掲げ、『オール愛南』として犯罪や交通事故等の抑止対策を推進し、事件・事故発生の際には迅速かつ的確に対処することで、町民の安全安心の確保、更には、町民から信頼される警察の実現に向けて、さまざまな取組を進めていく決意を新たにしている。</p> <p>3 業務推進結果、業務推進計画等の説明</p> <p>(1) 概要</p> <p>ア 前回の答申に対する取組状況</p> <p>平成30年度第3回協議会において「平成31年愛南警察署運営目標について」の諮問に対し、「①特殊詐欺防止に向けた更なる取組の推進、②交通死亡事故防止に向けた取締りの強化」について答申を受けたことから、答申に対する愛南署の取組状況を報告した。</p> <p>イ 業務推進結果等</p> <p>平成31年1月から4月までの業務推進結果、令和元年5月から8月までの業務推進計画について、各課長・係長が報告・説明した。</p> <p>(2) 質疑応答・意見要望</p> <p>【委員】</p> <p>問：災害対策として非常用発電設備の設置場所を変更したとのことであるが、定期的に点検を実施しているのか。その回数は。</p> <p>答（会計課長）</p> <p>：契約を締結した専門業者による年2回の定期点検を実施している。防水仕様であるほか、停電時に発電するか否かについても併せて点検を実施している。</p> <p>問：今後、南海トラフ地震を始めとする大規模災害の発生に伴い、津波の影響も懸念されるが、大規模な津波が到来しても大丈夫なのか。</p> <p>答（会計課長）</p> <p>：愛媛県が算出した被害想定によれば、最大級の津波の高さは5メートルであることから、これを上回る高さに設定することで要件は満たされており、当面は問題ないと捉えている。</p> <p>【委員】</p> <p>問：大規模災害に備える取組の推進事項に、町民の災害に対する意識の高揚を掲げているが、具体的方策は何か。</p>
------------------	--

議 事 概 要	<p>答（地域課長） ：管内5駐在所は、それぞれの公民館と共に活動するよう取決めがなされており、連携を図りながら対応している。</p> <p>答（警備係長） ：自主防災組織が整備され、定期的な避難訓練が行われていることから、警察としても積極的に参加し連携を図ることとする。</p> <p>答（交通課長） ：警察組織のみでの広報啓発活動では限界がある。現時点、消防が末端組織まで系統的に巻き込み、地域住民との合同避難訓練等を積極的に行っている。これら消防組織との連携強化を図るべく、近日中に、警察・消防・消防団の三者による打合せ会議を実施予定としている。</p> <p>【委員】 問：特殊詐欺等の防止に向けた「なーしー一座」の活動が効果的であると聞いており、今後も継続した活動をお願いしたい。</p> <p>答（地域課長） ：本年度も、すでに敬老会等からの依頼を受けており、敬老の日（9/16）には「なーしー一座」を派遣し、寸劇を行う予定としている。規模の大小に関わらず、要請があれば寸劇を実施し、犯罪被害の拡大防止に努めていく。</p>			
	<p>4 諮問及び答申</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>諮問</th> <th>答申</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者の安全安心確保に向けた推進について</td> <td>高齢者の特殊詐欺被害や災害に対する意識高揚、交通事故を防止するため、「なーしー一座」の寸劇による視覚に訴える広報啓発活動や巡回連絡の機会を利用した警察官による直接の指導・教示に注力されたい。</td> </tr> </tbody> </table>	諮問	答申	高齢者の安全安心確保に向けた推進について
諮問	答申			
高齢者の安全安心確保に向けた推進について	高齢者の特殊詐欺被害や災害に対する意識高揚、交通事故を防止するため、「なーしー一座」の寸劇による視覚に訴える広報啓発活動や巡回連絡の機会を利用した警察官による直接の指導・教示に注力されたい。			
	<p>5 質疑応答等</p> <p>【委員】 愛南町は、高齢者の割合が高く、特殊詐欺や災害等に対して関心の低い住民が多いことから、こうした住民を対象とした広報啓発活動を積極的に推進されたい。高齢者の多くは、地区の運動会等に積極的に参加する傾向にある。こうした機会や子供たちへの教育を通じた施策等、効果の上がる広報啓発を行うのが良策と考える。</p>			

